




## シラバス参照

タイトル「**2016年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2016年度 教養科目シラバス—シティズンシップ科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教育学概論		
担当教員	<a href="#">越野 章史</a>		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	火3	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 【教育学A】の取得者は受講不可		
科目名（英語表記）	Sciences of Education		
授業の概要・ねらい	近代以降の日本における学校教育の歴史を、政治社会・経済社会の変動とも関わらせながら平易に概説する。その際、教育政策の水準と教育実践の水準を往還することにより、制度改革が何を意図し何を帰結してきたのかを、各時代の状況をも踏まえて理解できることをめざす。 最終的には、今日進捗しつつある教育「改革」の意図、意味を各人が自らの学校経験とも結びつけつつ、理解できることをめざす。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、講義内容の概説</li> <li>2. 日本における近代学校の成立</li> <li>3. 大正自由教育</li> <li>4. 総力戦体制と教育</li> <li>5. 戦後教育改革1 政策・制度の層</li> <li>6. 戦後教育改革2 コア・カリキュラム</li> <li>7. 戦後教育改革3 生活綴方</li> <li>8. 「逆コース」教育改革</li> <li>9. 戦後教育をめぐる対立の図式</li> <li>10. 高度成長と教育1 期待される人間像</li> <li>11. 高度成長と教育2 系統主義の思想</li> <li>12. 高度成長と教育3 「新しい」教育問題</li> <li>13. 低成長の時代へ</li> <li>14. ゆとり教育とは何だったのか</li> <li>15. 現代の教育改革と教育実践</li> </ol>		
到達目標	日本における学校教育改革の流れを時代状況を踏まえて理解し、今日の教育改革論に対する識見を深める。		
成績評価の方法	期末試験70%、提出物（感想・質問カード）30%		
教科書	特に指定しない		
参考書・参考文献	山住正己『日本教育小史』岩波書店, 1987. 小熊英二『〈日本人〉の境界』新曜社, 1998. 佐野真一『遠い「山びこ」』新潮文庫, 2005. ジョン・タワー『敗北を抱きしめて 上・下』岩波書店, 2004. 斉藤貴男『教育改革と新自由主義』寺子屋新書, 2004. ほか多数。講義内で紹介します。		
履修上の注意・メッセージ			
履修する上で必要な事項			
受講を推奨する関連科目			
授業時間外学習についての指示	授業計画に沿って、上記の参考書や講義内で紹介する文献等を積極的に読み、教育問題に関する広い知識と歴史的認識をもてるよう、また自分なりの疑問や問題意識を持って講義に臨めるよう、心がけてください。		

その他連絡事項



---

Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.